



津久見中央病院からのお知らせ ～医科歯科連携を進めています～

津久見市医師会立津久見中央病院 院長 石川 浩一

医科歯科連携とは、医科と歯科が協働し、患者さんの病気に対し総合的な治療にあたることです。近年、医科と歯科の協働の必要性が認識され、大学病院などの医療機関を中心として連携が推進されています。医科と歯科が連携し患者さんの治療を総合的に行うことが、医療の向上に寄与すると考えられるようになったのです。病院での一般的な治療に歯周病などの歯科治療を組み合わせることで、治療効果が高まることに期待が寄せられています。歯科医師や歯科衛生士と連携して、医師や看護師だけでは行き届かない口腔内のケアを行い、患者さんの病気の予防や、感染症発症リスクを抑えることができます。お口の中を整えるのも治療の一部なのです。

体の病気を治すのに、どうしてお口のケアが必要なのでしょう？

お口の中には多くの細菌が生息しています。普段は悪さをしない細菌も、手術や抗がん剤治療を行うことで一時的に全身の抵抗力が弱まったときには、肺炎や重症の口内炎などの様々な合併症の原因となって、治療後の治りが悪くなることがあります。

しかし、体の治療を始める前に、あらかじめお口のケアを行い、細菌数をできるだけ少なくすることで、合併症のリスクを減らすことができます。

お口のケアってどんなことをするのでしょうか？

お口の中の細菌は、その大多数が歯の周りの汚れ(歯垢や歯石)の中に潜んでいます。お口のケアでは、専用の道具を使って歯の周りの汚れを除去するとともに、セルフケア方法についてアドバイスします。

また、むし歯があれば応急処置をして、口の中をできるだけ健康な状態に保つようにします。他にも全身麻酔の際に歯が傷つくことを防ぐ処置も重要です。その結果、早く自分のお口で食事をとることができ、早期の回復を期待できるようになります。

お口の健康は全身の健康につながるのですね。



お口のケアは、むし歯や歯周病予防のためだけでなく、全身の健康を守るためにもとても大切です。お口の状態を良好に保つことは糖尿病をはじめとした生活習慣病の予防や治療にも効果があることが分かっています。そして何よりも美味しい食事をお口から食べることができれば、栄養状態も改善し生きる力になります。また、必要により手術や化学療法、骨粗鬆症治療などを開始する場合にも、普段からお口のケアを大切にしていると円滑に治療を進めることができます。かかりつけ歯科医を持ちましょう。

当院では、入院患者さんをサポートするための医科歯科連携を強化してまいります。昨年、白津歯科医師会と連携して協議を継続して行っています。この取り組みに賛同し協働していただける歯科衛生士さんを募集しています。医科と歯科が協働して患者さんを治療することで、早期に治療が完了し、病状の緩和につなげて、津久見市の地域包括ケアシステムに貢献したいと私たちは考えています。

問 津久見中央病院 TEL:0972-82-1123